千葉県企業誘致セミナー2012

全部あります、千葉

東京会場から

きょう大阪で開催

本日13時15分から、千葉県と千葉県企業等誘致推進本部は大阪市北区の梅田スカイビルスペース36Lで「千葉県企業誘致セミナー2012」を開く。大阪での誘致セミナーは10年ぶり。関西圏の企業に対して、森田健作知事が千葉の地域資源や交通利便性など、さまざまな投資メリットを直接訴える。関西ベイントの浅妻慎司執行役員が千葉県での新工場建設の決め手を紹介するほか、キャスターの木場弘子氏ら有識者が千葉の産業ポテンシャルについて語る。セミナー終了後には知事と参加者の交流会を開く。

これに先立ち、10日に東京都千代田区のホテルグランドパレスで誘致セミナーを開いた。東洋大学の松原聡教授による基調講演に続き、千葉市美浜区に新本社を建設中のQVCジャパンの佐々木迅社長が立地の経緯を紹介。最後に森田知事が登壇し、千葉の魅力を熱く語った。定員150人を大きく上回る約180人の企業関係者らが出席。大手自動車、電機メーカーをはじめ、物流事業者、中小企業まで幅広い分野から参加した。講演を熱心にメモにとったり、分譲中の産業用地を問い合わせたりする姿が見られた。

千葉県側からは佐藤忠信商工労働部長のほか高梨国雄千葉県企業庁長、安達哲郎都市再生機構首都圏ニュータウン本部長ら開発事業者の幹部が出席。交流会では参加者に声をかけて立地環境を熱心に説明していた。

基調講演

グローバル化が進む経済とこれからの経営戦略

東洋大学教授　**松原　聡氏**

海外との競争、勝ち抜く魅力を

グローバル化が進み国境の意味が薄れる中で、企業の立地戦略は変化している。国内と同時に海外も立地の選択肢に入れることが当たり前になった。では、企業が投資先を選ぶとき、どんなインフラやリスクを検証すべきか。

重要なインフラの一つは法人税だ。日本は世界最高水準にあり、東日本大震災で法人税の引き下げペースは遅れている。現段階では世界で一番不利な国だ。電気料金もインフラと言える。政府は2030年代に原発ゼロを目指しているが、原発から太陽光発電へのシフトは電気料金の上昇につながる。このように産業インフラで日本は非常に不利だ。

リスクにはさまざまなものがあるが、まず自然災害は重要だ。東日本大震災のような災害は簡単に予想できない。被災地のある工業団地では、団地内のどこに立地しているかで被害程度がまったく異なった。災害リスクには非常に高度な判断が必要になる。

アジア諸国の急激な成長もリスクと言える。中国は高速鉄道の総延長で09年に日本を追い抜き、毎年6000万キロワットの発電所を建てている。これは東京電力の総発電能力に等しい。これほど巨大なマーケットが隣に存在すること自体がリスクだ。

EUやアメリカと次々にFTA（自由貿易協定）を締結している韓国も無視できない。震災後は日本企業の誘致を積極化し、法人税と電気代の安さやFTAの税金効果をアピールしている。

これらのインフラやリスクと関係するのが日本の政治だ。ねじれ国会が続き、総選挙が近づいている。赤字財政と円高にどう対処し成長戦略を実現するのか。TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）や脱原発への姿勢はどうか。我々は慎重に判断しなければいけない。

企業はグローバルな目線で立地を選択し始めた。千葉県は他の46都道府県だけでなく海外との誘致競争を勝ち抜くため、さらに魅力を高めていくべきだ。

知事講演

千葉県の魅力

森田　健作知事

夢のある県を目指す

千葉県内では投資環境の整備が進んでいる。東京湾アクアラインは社会実験で通行料金が800円に引き下げられた。（実験開始の09年8月から1年間で）首都圏への経済効果は358億円。三井アウトレットパーク木更津のオープンで200人の雇用が生まれ、地価が上昇して人口も増えている。料金引き下げは時限措置だが、私は恒久的に全力で取り組む。またアクアラインから近い工業団地「かずさアカデミアパーク」にぜひ一度訪問してほしい。緑にあふれた環境で、思いっきり働き、思いっきり休める、優れた事業環境が整っている。

千葉県には海外98都市を結ぶ国際空港、成田空港がある。地元の理解で発着枠は30万回へ拡大が決まり、今年7月には格安航空のジェットスタージャパンが、8月にはエアアジア・ジャパンが就航した。今後、成田には国内便をどんどん整備して、海外から日本全国に直接行けるようにする。羽田空港とも連携を深める。例えば茂原市ならば羽田空港にも成田空港にも1時間以内で行ける。二つの国際空港を持てる強みを想像してほしい。

道路の整備も進んでいる。今年度中に圏央道（首都圏中央連絡自動車道）の木更津東―東金間の約42キロメートルが開通する。アクアラインにつながる館山道では4車線化が決定した。残る圏央道の松尾横芝―大栄間は、1日も早い開通のために努力する。住民説明会が始まり、県も用地買収に向けてプロジェクトチームを作る。完成すれば成田空港から圏央道とアクアラインを通って都心に入る経路が完成する。東関東自動車道の代替道路として機能するはずだ。

交流会で森田知事と歓談する聴講者

千葉県臨海部は国内最大規模の素材・エネルギー産業コンビナートで、内陸部にも80以上の工業団地が造成されている。県全体で200ヘクタール以上の提供可能な用地があり、企業のニーズに幅広く対応できる。袖ケ浦市と茂原市では新しい団地の整備を進めている。

09年度に立地優遇制度を改正し進出企業には最大70億円を補助できるようにした。また多様な進出形態を踏まえ、今年4月から県内に本社を移転した場合、従業員1人当たり10万円の補助金を交付する制度を設けた。

千葉の魅力はまだまだある。自然や観光、豊富な農水産物、そして県民のおもてなしの心。労働力も豊かで、生産年齢人口の割合は66％と全国4位、多くの理工系大学が若い技術者を輩出している。千葉県にはポテンシャルがある。夢のある県、あそこなら何かできるんじゃないかという県、そんな千葉県を目指す。ぜひ立地を検討してほしい。

立地企業紹介

QVCジャパン社長　**佐々木　迅氏**

なぜ千葉なのか、QVCのホームグラウンド選び

事業拡大の要素、豊富に

QVCジャパンは全国のCS放送やケーブルテレビを通じ、24時間365日、生放送でテレビ通販番組を放送している。11年度の売上高は894億円、従業員は1505人。01年4月に千葉市美浜区の海浜幕張駅前に本社スタジオとコールセンターを構え、放送を始めた。

なぜQVCは千葉を選んだのか。00年6月に米国QVCと三井物産が合弁会社の設立に合意したとき、拠点選定には二つの条件があった。まず、番組が放送できる広い無柱空間。そしてコールセンターの人材を確保するために駅に近くアクセスしやすいこと。放送開始までの9カ月間で、この矛盾する条件をクリアしなければならない。人口の多い都心は土地が少なく、あっても高価だ。倉庫をスタジオに改装することも考えたが、郊外では採用が難しい。最終的に条件を満たしたのが海浜幕張だった。

広い土地があり、アクセス性に優れ、人材が優秀でコストも良好。それが千葉県の特徴だ。非常にバランスが取れた地域と言える。

在庫やサンプルを置く商品センターは千葉県佐倉市にある。海浜幕張への近さで選んだが、結果的に成田空港へのアクセス性が事業に好影響を与えている。海外製品が輸入しやすく、海外から応援スタッフも呼びやすい。現在、佐倉から年間800万ケースの商品を全国に出荷している。約400人の社員が働き、多くは近隣の主婦の方々だ。後背人口が多く、採用に困ることは少ない。

07年から新社屋の検討を開始した。他県を含めて考えたが、都心や成田空港からのアクセス、後背人口など、再調査を通じても千葉の優位性は揺らがなかった。すでに社員の9割が千葉県に在住し、「QVCは千葉の地場産業のようだ」と言われることもある。自社ビルを建設すればさらに千葉との結びつきは強まるだろう。

千葉に来たことは大正解だった。ビジネスを立ち上げ、育て、拡大するために必要な要素が十分にある。来年からは新社屋「QVCスクエア」で放送を始める。放送を通じて幕張や千葉県を全国の皆さんにより親しまれる場所にしたい。

企業用地のご案内

Kazusa Akademia Park

かずさアカデミアパーク

千葉県

www.pref.chiba.lg.jp

『かずさアカデミアパーク』をお薦めする5つの魅力

1 車で都心へ50分。羽田空港へ30分
2 今年度末には圏央道の木更津東I.C.－東金I.C.間が開通予定
成田空港へのアクセスが飛躍的に向上
3 分譲区画9,000円／㎡から・賃貸区画あり
4 快適、便利、安心な住環境と豊かな自然
5 世界が注目する最先端技術の研究施設
「かずさDNA研究所」
「NITEバイオテクノロジーセンター」

行政からの充実した支援!!

1 最大70億円の補助金
2 最大20億円の融資
3 立地奨励金交付
4 賃料減免制度（5年間）

千葉県知事
森田 健作

かずさが選ばれる理由

東京湾アクアラインの着岸地に位置する「かずさアカデミアパーク」は、緑豊かな自然環境、都心から約1時間の優れた交通アクセス、充実した支援制度などが評価され、エレクトロニクス、精密機械など多様な分野の工場や研究施設の立地が進んでいます。

特に、平成21年8月からはアクアラインの通行料金が全日、普通車800円、大型車1,320円に引き下げられ、かずさアカデミアパークの利便性は飛躍的に高まりました。

また、かずさアカデミアパークは、上総丘陵に位置しており、地盤が安定しているため、先の大震災においても、立地企業様への影響はありませんでした。

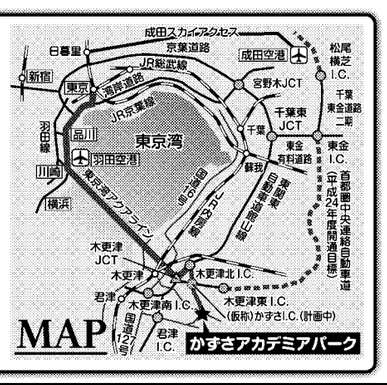
このように都心からのアクセス、素晴らしい立地環境、立地企業への充実した支援制度など、多くの魅力を持つ「かずさアカデミアパーク」への立地を、是非とも御検討くださいますようお願い申し上げます。

現地見学会のお知らせ

現地スタッフが、いつでもお好きなときにご案内致します。
〈対応時間：平日9:00～17:00〉
【JR東京駅から直通バスで60分】

アクアラインを通る高速バスは1日620本以上!

都心と房総半島を結ぶ大動脈「アクアライン」。東京・羽田・川崎・横浜へ思いのままの利便性。立地後の物流、商談機会においても大きな強みです。



お問い合わせ
かずさアカデミアパーク研究所等立地推進協議会　www.kazusa-ap.jp

事務局　千葉県商工労働部 企業立地課　〒260-8667 千葉県千葉市中央区市場町 1-1
tel：043-223-2443　fax：043-222-4092　E-mail　park3@mz.pref.chiba.lg.jp

会員　千葉県、木更津市、君津市、伊藤忠商事㈱、新日鉄興和不動産㈱、三井不動産㈱、㈱みずほコーポレート銀行、㈱かずさアカデミアパーク